

平成 30 年度 第2回「教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修」を開催しました！

10月10日（水曜日）、大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）にて「平成 30 年度 第2回『教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修』」を開催しました。地域で子どもたちと活動する様々な場面において、大人としてどのように関わればよいのか、講演や交流を通して考えました。

1. 日 時 平成 30 年 10 月 10 日（水） 13 時 20 分～16 時 40 分
2. 会 場 大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー） 2階 咲洲ホール
3. 参加者 教育コミュニティづくりに関するコーディネーター・学校関係者・行政担当者 等 約 150 名

1. 講演 「子どもたちとの関わり方及び活動手法の実践」 NPO 法人 NAC 理事 赤木 功 氏



第 1 部

第 1 部では、「子どもたちの理解」として、接するときの距離感や傷つける言葉体験などを行いました。

（参加者の感想から）

- ・研修が上手に構成されており、教えることを業務としている自分にとって、学ぶこと、吸収したいことがたくさんあった。
- ・心理学の手法を用いているのが面白く、実践につなげられる内容でよかった。



第 2 部

第 2 部では、「実際の活動手法例」として、FEEL MAKE の考え方について学んだり、ワールドカフェ方式を用いて、各コーディネーター様の意見交流を行いました。

（参加者の感想から）

- ・子どもが「自ら考える環境を作る」例をたくさん教えて頂きました。1つ1つの課題について、少しずつ変えていこうと思う。
- ・いろいろな立場の方の意見を聞くことができ、多様な考えや感想を知ることができた。

3. 交流



「子どもとの関わりの中で、心がけていること、大事にしていること、悩んでいること」について、参加者自身の経験や考えを交流し合いました。

（参加者の感想から）

- ・子どもたちとの関わり方について、改めて考える材料を提供してもらった。
- ・他市の方々との交流で、様々なことを学ぶことができた。
- ・日頃聞くことのないコーディネーターの生の声を聴くことができ参考になった。

4. おおさか元気広場をはじめ、企業・団体による学校や地域で活用できるプログラムの紹介

ブースにて、企業・団体による出前プログラムの紹介がありました。おおさか元気広場だけでなく、様々な場面での活用の相談もありました。

（協力企業・団体）

ライオン歯科衛生研究所、株式会社明治、日本交流分析協会関西支部、FC 大阪、こどもミュージアムプロジェクト運営事務局、地域教育振興課社会教育グループ

